

今年、理科が大好きな5年生の子どもたちにおよ5点の力作が集まりました。全体的な傾向としては、生活の中にある食材や生活用品を活用した作品・研究が多くありました。また、昆虫や魚、植物など生物分野の研究が多くありました。

中でも、幸小学校の向井さんの研究「野菜はあまくなる？」は、日常生活で感じた疑問に対して、積極的にアプローチし、より正確な考察ができるように実験条件を一つ一つ丁寧に見直しながら、研究に取り組む素敵な作品でした。

また、天白小学校の藤田さんの研究「身近な液体のひみつ」は、実験で使用するリトマス紙を様々な植物から自作し、それらを使って、20種類の液体を調べていました。研究を粘り強く行い、結果をまとめる力作でした。

本年度も理科好きの子どもたちが意欲的に研究する姿が見られ、うれしく思いました。これからも身近なところから興味関心を持ち、自ら調べ、探究心あふれる研究に取り組む子どもたちが増えることを期待しています。